

オミクロン株対応ワクチン接種の取組について

オミクロン株対応ワクチンについては、本市でも10月1日から接種を開始していますが、次のとおり、今冬の感染拡大に備えるため、藤沢市医師会・湘南病院協会・藤沢市薬剤師会・藤沢市の連携により取組を推進します。

1 藤沢市民のワクチン接種状況

(1) 12歳以上（10月31日現在）

	回数	対象人口接種率
1回目接種	350,646回	(12歳以上の) 88.2%
2回目接種	349,178回	(12歳以上の) 87.8%
3回目接種	283,619回	(12歳以上の) 71.3%
4回目接種	127,934回 (うち60歳以上) 98,283回	(12歳以上の) 32.2% (60歳以上の) 74.7%
総接種数	1,111,377回	

※5回目接種は、10月末から接種開始のため上記回数に含まれていません。

(2) 小児接種（10月31日現在）

	回数	対象人口接種率
1回目接種	4,060回	(5歳～11歳の) 14.5%
2回目接種	3,922回	(5歳～11歳の) 14.0%
3回目接種	365回	(5歳～11歳の) 1.3%
総接種数	8,347回	

※上記(1)及び(2)は、国のワクチン接種記録システム(VRS)の数値を使用しています。対象人口接種率の母数は、令和4年1月1日の住民基本台帳における人口を使用しています。

2 オミクロン株対応ワクチン接種の概要

(1) 目的

重症化予防はもとより、持続期間が短い可能性があるものの、感染予防効果や発症予防効果も期待されています。また、従来株とオミクロン株に由来する成分の両方を含むワクチン（2価ワクチン）であるため、より多くの種類の新型コロナウイルスに反応することができることから、今後の変異株に対しても有効であることが期待されています。

(2) 接種対象者

初回接種（1・2回目接種）を完了した12歳以上の全ての方が対象です。オミクロン株対応ワクチンは、3回目、4回目、5回目のいずれで接種するかに関わらず、現時点では1人1回とされています。

なお、初回接種にはオミクロン株対応ワクチンは使用できません。

(3) 接種間隔短縮と接種券

国は、今冬の感染拡大に備えるため、10月21日に接種間隔を5か月から3か月に短縮しました。結果として、9月までに従来型ワクチンの初回接種が完了している方全員が年内にオミクロン株対応ワクチンを接種することが可能となりました。

接種券については、本市では、10月24日から接種間隔の短縮に伴う前倒し発送を開始しています。

(4) 使用ワクチン

オミクロン株対応ワクチンについては、オミクロン株のBA.1対応型とBA.4-5対応型があり、ファイザー社製は12歳以上、モデルナ社製は18歳以上が使用可能です。国は、10月31日現在、全国で1億209万回分のオミクロン株対応ワクチンを供給するとしており、本市にも、ファイザー社製を主として、30万回分を超えるワクチン供給が見込まれています。

本市では、原則として、10月1日からはオミクロン株BA.1対応型ワクチンを使用することとし、11月1日からはオミクロン株BA.4-5対応型ワクチンを使用することとしました。市全体で統一的な対応を図ることにより

混乱回避を図っています。

なお、小児接種に使用するワクチンについても、今後、ファイザー社製の小児用オミクロン株対応ワクチンに切り替わることを想定しています。

(5) 接種実施期間

接種実施期間は、令和5年3月31日まで延長されています。令和5年度の接種実施についての国の方針等は示されていません。

(6) 個別接種と集団接種

引き続き、個別接種（医療機関での接種）と集団接種の双方を実施することとし、藤沢市医師会を通じて、個別医療機関に対して、医療従事者等の接種や高齢者施設等の巡回接種を含めた接種推進への協力を依頼しています。また、集団接種についても、現行の保健所会場に加えて、JAさがみ本店や湘南台公民館など、北部（湘南台）に臨時の会場を設置する取組や、1日当たりの接種数を拡大する取組などを進めています。

(7) インフルエンザワクチンとの同時接種

新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンの接種間隔に制限はありません。同時接種も可能です。その他のワクチンについては、13日の間隔を空けて接種する必要があります。

(8) 職域接種

国は、10月下旬から職域接種を可能としています。オミクロン株対応ワクチンを使用した職域接種を実施する市内会場については、これまでの最大12か所から大幅に減少し、数か所程度の実施にとどまる見込みです。

3 課題と対応策

オミクロン株対応ワクチンについては、これまで最大の課題であったワクチンの供給量に不安がないものの、接種間隔の短縮により、年内の接種対象者が大幅に増加しているため、一時期に予約が集中する可能性があります。

現在は、市のコロナワクチン専用コールセンターと藤沢市コロナワクチン接種予約サイトで、40を超える個別医療機関の予約も代行して受け付けているため、

予約が集中した場合には、空きが生じている医療機関を案内するなど、市内医療機関が設けた予約枠をできる限り有効に活用するほか、藤沢市医師会等の関係団体と連携して集団接種を拡大するなど、対応策を講じる予定です。

(健康医療部 保健所 地域保健課)